

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【三浦半島魅力深化プロジェクト】

推進当初

申請者	神奈川県ほか5自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	921,586千円 (223,740千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>・観光については、これまでの低・未利用資源を観光で活用すること等を通じ、経済の活性化を進める。</p> <p>・「働く魅力」の向上に向けて、若者にとって魅力的な「働く場」を創出する。また、地域経済の活性化を通じて雇用拡大を図る。</p> <p>・「住む魅力」の向上に向けて、域外からの二拠点居住・移住希望者を呼び込む。また、地域に共通する課題を、先端技術の活用や、地域や民間との連携による持続的な解決の仕組みの構築に取り組むことで、住民の転出抑制につなげる。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○地域における社会的課題の解決などを目的に、収益を確保しながら社会的事業に取り組む事業者の発掘及び起業支援<県></p> <p>・地域の担い手による地域課題解決支援事業 (委託料) 9,148千円</p> <p>○プログラミング人材育成事業<横須賀市></p> <p>・アカデミーの運営 (委託料) 7,686千円</p> <p>○海や緑の自然環境を後世に残していくため、SDGsの取組みを推進<鎌倉市></p> <p>・SDGsポイントシステムの運用 (委託料) 1,752千円</p> <p>○地域特性に合った企業の誘致・起業の促進<逗子市></p> <p>・関係法人創出のための企業版ふるさと納税活用 (委託料) 2,200千円</p> <p>○三崎水産物のグローバルブランディングの推進<三浦市></p> <p>・三崎漁港グローバルブランディング戦略事業 (補助金) 3,000千円</p> <p>○葉山町里山の魅力創造事業<葉山町></p> <p>・里山再生整備 (委託料) 1,586千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①三浦半島地域4市1町の生産年齢の社会増減数 (+370人)</p> <p>②鎌倉市を除く3市1町の観光客消費額 (+4,600百万円)</p> <p>③県民ニーズ調査における「現在のところに住み続けたい」と思う人の三浦半島地域の割合 (+5.7%)</p> <p>④事業を通じたイベント参加者数 (+22,000人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html</p>

※神奈川県、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の広域連携事業

事業概要【ICTを活用した観光周遊の基盤づくり促進による地域活性化推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県横須賀市	初回採択回	令和2年度第2回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	104,093千円 (10,939千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 各観光拠点をつなぎ横須賀全体の魅力を発信することで、観光客数及び観光消費単価の増加を図る ICTを活用した観光客等の動向分析や市内事業者のICT導入支援を行い、利便性の向上を図る ICT人材の育成環境を構築することで、地域産業の持続的な活性化を図る 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ICTによる観光周遊の促進 ・デジタルスタンプラリーの実施 (委託料) 2,028千円 ・AIビーコンによる動向分析 (委託料) 2,594千円 ・観光施設にモバイル充電器を設置 (委託料) 317千円 ○市民の利便性向上及び経済促進 ・小規模事業者ICT支援 (補助金) 6,000千円		デジタルスタンプラリー 参加イメージ画面  AIビーコン (観光施設等 27か所設置)  充レ (三笠ターミナル設置) 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光客数 (+1,430千人) ②市内観光消費額 (+163億円) ③宿泊者数 (+90千人) ④市内のeスポーツ人口 (+300人)		関連URL https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0830/upi/hyouka/documents/06_r5kaigi_shiryo4_suishinko uhukin.pdf

申請者	神奈川県小田原市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	229,351千円 (46,795千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを生き育て、次世代を担っていく若い世代や、女性の活躍を意識した定住施策の促進を図る ・地域資源を、関係人口や交流人口の参画により深化させ、価値を再認識し、次の世代に継承させていく ・「おだわらイノベーションラボ」を取組の核にして、様々な分野・世代の方々が交流し、多様な個がつながり、イノベーションが起こることで、小田原のまちの価値が向上し、持続可能なまちとなることを目指す 		
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○官民連携・共創を生み出すおだわらイノベーションラボ設置事業 26,872千円 ・事業コーディネート事業 (謝礼) ・おだわらイノベーションラボ運営事業 (施設等賃借料ほか) 等 ○若者活躍推進事業 5,748千円 ・U I J ターン・起業家支援事業 (補助金ほか) 等 ○女性活躍推進事業 (報酬ほか) 690千円 ○地域資源継承事業 9,919千円 ・地域資源循環事業 (負担金)、第1次産業体験事業 (委託料) 第1次産業従事者育成事業 (補助金、報償費) 等 ○芸術でつながるまちづくり事業 (謝礼ほか) 3,566千円 		 <p>おだわらイノベーションラボで開催した「はたらく女子会」の様子。参加者は女性活躍推進事業における小田原Lエール認定企業ほか。</p>
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①本事業における起業に至った件数 (+95件) ②女性活躍推進優良企業認定制度の認定数 (+300事業所) ③本市における年間転入者数 (+900人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証)</p> <p>https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/tihousousuei/kouka/p37099.html</p>

事業概要【宮ヶ瀬湖周辺地域交通サービス推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	27,000千円 (9,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通手段の確保により、公共交通利用者だけでなく自家用車での来訪者も公共交通手段に乗り換え、複数の拠点施設への来訪を促すことで、消費機会を増大させつつ、渋滞の解消を図る。 ・消費機会を増大させることにより観光消費の増加を実現する。 ・周遊を活性化する交通手段の充実や新たな交通サービスの展開を図る。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域公共交通実証実験事業 小回りの利くマイクロモビリティを新たな交通サービスとして展開することで、課題解消の深化と個人当たりの観光消費額の向上を目指す。 モビリティ及びシステム等使用料、維持管理費用等 7,000千円 2. 既存交通システムとの連携を含めた地域交通体系調査研究事業 交通システムを引き続きスマートフォンアプリと連携させ、実証実験で得られたデータを活用して翌年度以降の自走化に向けた調査・研究を行う。 交通データ分析・報告作成等に係る経費 500千円 3. 新たな交通システムと連携した観光客誘客事業 DMOなど地域の事業者や周辺市町村、交通事業者と連携して観光客誘客事業を実施する。 地域公共交通と連携した誘客事業委託費 1,500千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①宮ヶ瀬湖周辺地域の観光消費額 (平均消費単価) (+571円) ②実証実験期間中における新たな地域交通の利用者 (1日あたり) (+150人) ③宮ヶ瀬湖周辺地域の観光客数 (+94万人) 		関連URL https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihou-sousei-kofukin.html	

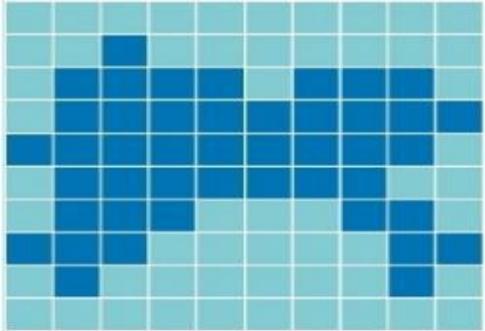
事業概要【テレワークによる新しい働き方の普及を契機とした移住・定住の更なる促進】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	62,349千円 (22,076千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>「移住・定住にかかる新たな手法の必要性」という構造的な課題を解決するため、本事業では前身事業の分析をもとに、次の手法を新たに活用し、本県への人の流れを生み出していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレワーク等による働き方の改革やワーク・ライフ・バランスの推進を通じた人の流れの創出 ・ 空き家の利活用を通じた人の流れの創出 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○都心の働く世代へのテレワーク等に関する情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業成果の対外的なPR (委託料) 1,900千円 ・ ウェブサイト掲載コンテンツの更なる拡充等 (委託料) 2,219千円 <p>○テレワークの推進や空き家の利活用等に係る市町村の取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村主導によるプロジェクト等の実施 (委託料(専門家謝金、運営経費、一般管理費等)) 5,071千円 ・ 市町村連絡会の開催による連携プロジェクトの実施 (講師謝金) 100千円 <p>○テレワーク等による移住に向けた相談体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村の自走化に向けた移住相談・移住セミナーの開催支援 (委託料(人件費、運営経費、税等)) 12,636千円 ・ 市町村主導によるフェアへの出展 (ブース出展料) 150千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①本事業において神奈川県や市町村が取り組む移住相談を経由した移住者の数 (+490人) ②本事業において実施するテレワークを切り口としたイベント等への参加者数 (+23,000人) ③本事業において利活用された空き家の件数 (+27件) 		
			<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html</p>

事業概要【イノベーション創出ネットワーク形成事業】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	430,550千円 (147,159千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県経済を牽引する県内拠点のベンチャー企業が生まれ、育つ仕組みを構築することにより、県内経済の活性化と地域課題の解決を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○起業家と交流する機会の提供や、起業に向けたビジネスプランの作成支援を実施することで、若年層の起業準備者の増加を図る。 (委託料等) 14,205千円</p> <p>○起業支援拠点において、起業準備者に対し、起業支援の実践的なプログラム及び先輩起業家との交流機会を提供し、ベンチャー企業の創出促進を図る。 (委託料等) 43,957千円</p> <p>○成長期ベンチャー企業を対象に、ベンチャー企業と、大企業等の多様なプレイヤーが交流する拠点を運営し、オープンイノベーションを通じてベンチャー企業の成長を促進する。 (委託料等) 88,997千円</p>	 <p>HATSU-SHIN KANAGAWA</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①事業化達成数 (+31件) ②起業関心層支援件数 (+120件) ③起業支援関係市町村数 (+15市町村) ④提携プロジェクト件数 (当該年度目標値+24件) 	関連URL	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html

事業概要【横浜市「グローバル拠点都市」推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,880千円 (36,960千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業・大学等との連携によりイノベーション人材を育成し、社会課題解決につながる新ビジネスが創出される環境を整備する ・国内外の都市やイノベーション支援組織と連携し、支援機能の共有と質の向上を図る ・産学公民連携でビジネスイベントを開催し、まちぐるみのイノベーション創出を推進する 			
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> イノベーションが創出されるための環境整備 <ol style="list-style-type: none"> 大学等と連携した人材育成プログラムと事業化支援 (委託料) 20,000千円 (※(3)と一体で実施) 小中高生を対象とする次世代育成プログラム (委託料) 7,000千円 市内に立地する企業と連携したインターンシップ・プログラム 国内外の他都市との連携による支援機能の共有化、国内外への情報発信 <ol style="list-style-type: none"> 海外他都市のイノベーション支援組織との連携による国境を越えたスタートアップ支援、ビジネス創出プログラム (負担金) 1,630千円 グローバル拠点都市自治体間の連携による女性起業家支援プログラムの実施 (負担金) 2,100千円 国内外から人・企業・投資を呼び込むビジネスイベントの開催 (負担金) 6,230千円 <p>【実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業推進主体：横浜市、横浜未来機構 ○委託先は専門性を有する民間事業者等を選定予定 		 <p>ビジネスイベント「YOXO FESTIVAL 2024」の様子</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①本事業の人材育成プログラムで支援した者による事業化件数 (+30件) ②本事業の人材育成プログラムで支援した者により創出されたプロジェクト件数 (+90件) ③人材育成プログラム参加者数 (+400人) ④ビジネスイベント等の参加者数及び集客数 (+8,000人) 		関連URL https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html	

事業概要【「ハマフェス」を契機とした横浜都心部賑わい創出事業】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	120,000千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市の国際競争力の向上や魅力・活力の持続的な発展につなげる。 ・関内・関外地区を中心とした横浜都心部の賑わいや経済効果の最大化及び地域の一体性の向上を目指す。 ・交流人口の拡大や市のブランドイメージ向上を目指す。 ・公共空間を活用した集客・地域振興を図る。 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○地域活性事業「ハマフェス」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイン会場、ステージ設営運営費 11,600千円 ・各地区イベント開催支援経費 600千円 ・広報宣伝費 900千円 ・各地区周遊・連携イベント経費 600千円 <p>○関内・関外地区各商店街の地域振興施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展ブース設営費等 2,100千円 <p>○地域企業等と連携した実証実験の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費、開催経費等 2,100千円 <p>○「横浜開港月間」を活用した賑わいの醸成と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ・ポスター制作等経費、事務局経費等 2,100千円 <p>【実施体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業推進主体：ハマフェス実行委員会 ○共催：横浜市 ○後援：神奈川県、公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①ハマフェスの経済波及効果 (+45,000百万円) ②支援事業への協力企業数 (+200件) ③ハマフェスパスポートの利用件数 (+16,000件) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html</p>



申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	179,823千円 (59,941千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ・起業家の成長・発展に向け、支援プログラムやネットワーク形成、拠点施設の設置・運営、地域課題の地元関係者等のサポート体制構築を通じて、横浜ならではのスタートアップ・エコシステムの形成を図る。 ・人材不足に陥りがちなスタートアップや中小企業を主な対象として、フリーランスや大企業の社員、キャリアブランクのある女性等の「副業・兼業人材」とのマッチングに向けた『新しい・多様な働き方』の仕組みの構築を図る。 ・産業競争力強化法に基づき国から認定されている「横浜市特定創業支援等事業」などにより、民間団体と連携し市内各地で広く創業支援に関する講座を開催し、創業促進と創業の機運醸成を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○スタートアップ支援業務委託 (委託料) 55,941千円</p> <p>○イノベーション人材交流促進事業業務委託 (委託料) 4,000千円</p> <p>【実施体制】</p> <p>○実施推進主体：横浜市、協働で事業を運営する事業者</p> <p>○委託先は、スタートアップ支援等の専門的な知見やノウハウがある事業者を公募にて選定</p>		  <p>写真左：スタートアップ伴走支援「YOXOアクセラレータープログラム」の様子 写真右：起業家育成講座「YOXOイノベーションスクール」の様子</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①支援した新規起業件数 (+100件)</p> <p>②支援したスタートアップが受けた投資額 (融資を除く) (+120億円)</p> <p>③スタートアップやプロジェクトの支援件数 (+250件)</p> <p>④YOXO BOXのスタートアップ・コミュニティ参加者・利用者数 (+14,000人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html</p>

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	240,000千円 (76,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的 (効果)	人口減少・少子高齢化、炭素経済依存型の産業構造、事業者における脱炭素・SDGsへの意識・対応ギャップなどの課題解決に向け、 ・脱炭素化・SDGs達成を両輪とした都市経営の推進を図る ・都心臨海部・郊外部双方の構造転換がもたらす社会課題へ対応する ・ヨコハマSDGsデザインセンターの収益事業化を通じた自律的好循環を確立する			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	○ヨコハマSDGsデザインセンターのESG投資マネーを呼び込む稼げる組織としてのプロジェクトメイキング ・プロジェクトの創出委託 27,000千円 ・認証制度“Y-SDGs”の運営・活用等委託 19,000千円 ・プロモーション委託 10,000千円 ○住民・事業者が使用する電力の再エネ切替を契機とした、郊外部における脱炭素化と地域課題解決を一体的に進めるまちづくりの推進 (補助金) ・行動変容に向けた普及促進 (ソフト) 10,000千円 ・プロジェクトに関する費用 (ハード) 10,000千円 【実施体制】 ○事業推進主体：横浜市、ヨコハマSDGsデザインセンター ○補助金交付先：郊外部における脱炭素化と地域課題解決を一体的に進めるまちづくりについて、鉄道事業者・開発事業者・地域住民・まちづくり団体等で構成される事業体に補助金交付により事業実施		 <p>▼横浜版脱炭素化モデル事業一例 (相鉄南万騎が原)</p> <p>▲ヨコハマSDGsデザインセンター拠点 (みなとみらい21地区)</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①デザインセンターのコーディネートによる、SDGs達成に向けた取組創出のための内外の主体のマッチング斡旋数 (+120件) ②Y-SDGs認証取得者数 (+600者) ③グリーン×デジタル活用に関する連携事業数 (+6件) ④郊外部における脱炭素化と地域課題解決を一体的にすすめるまちづくりの推進地区 (エリア) 数 (+9地区)		関連URL https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html	

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,000千円 (18,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員数が僅少で相談窓口赶赴けない小規模事業者への支援が可能となるため、小規模事業者の抜本的な経営基盤の強化につながる。 ・専門家による実効性の高い相談を通じ、小規模事業者において対応の遅れている「配（流通・卸）・販（小売り）」のデジタル化を促進 ・デジタル化を意識した「製（メーカー）」に係る設備投資が促進され、小規模事業者の生産性の向上につながる。 ・市内小規模事業者の生産性向上・デジタル化の実装と経営回復・雇用の創出により、持続的な成長・発展とデジタル田園都市推進に寄与。 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模事業者に対するデジタル化としての販路開拓支援 IDEC横浜から小規模事業者へ訪問等で相談支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体…横浜企業経営支援財団（以下、「IDEC横浜」とする） ・主な経費…出張相談員等 謝金 など、11,700千円 ・事業全体の統括事務費…広報経費 など、300千円 ●小規模事業者に対する販路開拓支援 民間事業者からのインセンティブ付与を伴う支援メニュー提供 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体…横浜市経済局中小企業振興課 ・主な経費…民間事業者からの提供のため、費用負担なしを想定 ●小規模事業者に対するデジタル化に資する設備投資支援 デジタル田園都市国家構想に向けた設備投資実装に対する少額助成を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・事業主体…横浜市経済局ものづくり支援課 ・主な経費…補助金の支給 など、6,000千円 ※60事業者×100千円（上限額100千円 補助率50%） 		 <p style="text-align: center;">IDEC横浜による小規模事業者出張相談の様子</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①当該支援対象事業者の設備投資・販路開拓等に係る市内投資額の増（+75,000千円） ②支援対象事業者の従業員数増減（+9%） ③小規模事業者への販路開拓支援を行う民間事業者数の増（+10事業所） 		関連URL https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html

申請者	神奈川県小田原市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	412,210千円 (111,128千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・人流データ等を活用し、市内の回遊性を向上させ、滞在時間を延ばすことで観光消費額の増加を図る ・小田原城以外の観光コンテンツを造成し、若年層を中心とした交流人口の拡大を図る ・小田原の食や食文化を広めることで、誘客につなげるとともに、一次産業、二次産業、三次産業にも効果を波及させ、地域経済の好循環につなげる 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>【施策1：デジタル技術の活用】25,128千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信媒体掲載料 (委託料) ・AIビーコン設置・運営 (委託料・負担金) ・デジタルスタンプラリー企画・運営 (委託料・負担金) ・市場調査費 (委託料) <p>【施策2：「美食のまち」の確立】46,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の啓発イベント、生産者と事業者のマッチングの実施等 (負担金) <p>【施策3：ポップカルチャーを活用した若年層へのアプローチ】40,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメやe-sportsのタイトルコラボした誘客可能なイベント等の実施等 (委託料・役務費・負担金・使用料) 	 	
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①一人当たり観光消費額 (+712円) ②宿泊者数 (+255,000人) ③メディア等に取り上げられた件数 (+60件) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証)</p> <p>https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/tihouseusei/kouka/p37099.html</p>

事業概要【子育て世代の住まう町～真鶴町定住推進事業～】

推進当初

申請者	神奈川県真鶴町	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	50,473千円 (15,915千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな町ならではのきめ細かな支援が整った子育て環境整備による子育て世代の定住促進 ・真鶴町ならではの魅力を生かした教育環境整備による子供たちの地域愛、郷土愛の向上 ・公民協働による行政のみの視点や資源を越えた地域課題の解決 ・広報力を強化し、移住や定住推進のために効果的な情報発信を図る 			
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な子育てケアに係る実証実験経費 4,880千円 (一時保育・相談事業、子育て学級、要保護児童への支援対策補助) ○教育環境整備推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・真鶴町らしい社会教育の年間プログラム経費 (講師謝礼、委託料等) 808千円 ・出張展覧会・対話型鑑賞会の実施経費 501千円 ・地域住民主体型事業の実施経費 1,109千円 ○公民協働推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・公民協働事業情報を含めた総合オープンテラ特設サイト整備委託料 6,039千円 ・地域課題解決及び公園づくりに関する民間提案事業への補助 2,000千円 ○広報魅力化実証実験費 <ul style="list-style-type: none"> ・紙面広告及びWeb広告経費 578千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①教育プログラム参加者の経年増加率 (+20%) ②公民連携事業による課題解決件数 (+4件) ③町ホームページ閲覧回数増加 (+30,000回) ④一時保育、子育て学級、教育プログラム参加者の満足度 (+80%) <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.manazuru.kanagawa.jp/soshiki/kikaku/senryakusuishin/1188.html</p>	

事業概要【地域産業の活性化によるゆがわら魅力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	神奈川県湯河原町	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	105,000千円 (32,500千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・開発及び商品化を進めている源泉を凝縮した「(仮称)クラフト温泉」を新たな観光資源として活用し、若年層と連携した情報発信及び効果的なプロモーションの実施 ・新たな販路拡大を狙う町内の生産者・事業者と町外の販売チャンネルを結ぶマッチングを実施し、地域産業の深化を図る。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○町内のイベント、東京ガールズコレクションとのコラボレーションによるクラフト温泉の効果的なプロモーションの実施。 ・プロモーションの実施・効果検証等 (委託料) 26,000千円 ○若年層による情報発信スキームの深化及び自走化に向けた検討等の実施。 ・情報発信体制の企画・運営と自走化の検討等 (委託料) 3,500千円 ○伴走型の創業支援及びマッチング支援の継続と自走化に向けた検討・実施。 ・伴走型の創業支援の継続と自走化に向けた検討・支援 (委託料) 3,000千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+1,400百万円) ②本事業の取り組みにより町外の事業所とマッチングした町内事業者数 (+17社) ③クラフト温泉販売数 (+18,000本) 		関連URL	https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/soshiki/17/1914.html

事業概要【かながわ水産業福祉連携推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	48,000千円 (16,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	障がい者、高齢者、生活困窮者といった幅広い福祉の支援を要する者を水産業（水産加工、漁業）の担い手の一端に位置づけ、福祉部門と連携しながら水産業の新しい担い手を創出し、就労・雇用の確保につなげるとともに、障がい者等が生涯を通じて活躍できる仕組みづくりを行うことで、地域の活性化を図り、漁業コミュニティの立て直しを図り、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の実現に資する地域共生社会の実現を図る。		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①研修（普及啓発） 1,217千円 ②研修（水産業者向け） 1,305千円 ③研修（コーディネーター育成） 2,226千円 ④研修（ジョブコーチ育成） 2,217千円 ⑤研修（現場体験） 2,227千円 ⑥アドバイザー派遣 2,089千円 ⑦マッチングの場づくり 1,771千円 ⑧水産業福祉連携推進研究会 2,073千円 ⑨マニュアル・ガイドブックの作成 875千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①障がい者の新規就労者数（延べ） (+450人) ②高齢者・生活困窮者の新規雇用者数 (+30人) ③研修修了者数 (+630人) ④研修での理解度増割合 (+180%) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html</p> <p>https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/suifuku.html</p>

事業概要【スポーツツーリズム推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,116千円 (13,586千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の自然環境や地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進により、県内外からの誘客促進を図る ・地域と連携しながら地域の魅力に磨きをかけて人を呼び込むことで地域の活性化を図る 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○県内外から人を呼び込むための、地域の魅力を活かしたルートプランを活用したアプリ等による情報発信、体験イベント等によるサイクルツーリズム誘客の仕掛け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の更新、発信 (委託料) 2,970千円 ・イベント実施 (委託料) 10,487千円 <p>○民間事業者や団体など様々な主体と話し合い・意見交換の場であるプラットフォームの運営、連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 83千円 ・会場使用料 46千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ① サイクルツーリズム入込観光客数 (+ 70,000人) ② 新たに設定したサイクルルートを利用した人数 (+ 20,352人) ③ プラットフォームにおける話し合いの場の回数 (+ 12回) 		関連URL https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html	

事業概要【海外活力の取り込みによるオープンイノベーション・グローバル人材創出事業】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	85,000千円 (30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	都市の持続可能な成長のためには、更なる外国人材の呼び込みが必要であり、海外と市内企業との更なる連携強化や、横浜の都市としての国際的認知度の向上、グローバルに活躍する人材の育成が必要である。そのため、海外から企業や人材を呼び込み、市内企業等との多様なマッチング機会を創出し、国内外企業のオープンイノベーションにより新たなビジネスとグローバルに活躍できる次世代が持続的に生まれる国際都市を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○ 海外スタートアップと市内企業による脱炭素・グリーン分野を中心とするオープンイノベーション創出 7,000千円</p> <p>○ 世界のイノベーションの結節点となる国際コンベンションの開催と国際プロモーションの強化 18,000千円</p> <p>○ 上記コンベンション開催に併せた、グローバルに活躍する次世代の人材育成 5,000千円</p> <p>【実施体制】</p> <p>○ 事業推進主体：横浜市</p> <p>○ 委託先：海外スタートアップと市内企業による脱炭素・GX分野を中心とするオープンイノベーション創出にかかる企画及び国際コンベンションの運営について、民間事業者（イベント企画運営、各種調査企画会社等）に委託予定。</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>① 海外とのオープンイノベーションを通じた投資呼び込額 (+ 100億円)</p> <p>② 国際コンベンションへの海外からの参加者数 (オンラインを含む) (+ 30,000人)</p> <p>③ 若い世代の海外活躍への関心度 (+ 20%)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html</p>

事業概要【海外脱炭素ドミノ推進による横浜型脱炭素エコシステム創出事業】

推進当初

申請者	神奈川県横浜市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	100,000千円 (30,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	横浜市と市内企業等を中心に脱炭素化の実績や海外ネットワークを活かしながら、海外都市の脱炭素ドミノを推進することで、市内企業の海外インフラ市場での受注増を実現する。これにより横浜市に情報や人材が更に集積して市内企業等による海外でのインフラビジネス形成が促進される「横浜型脱炭素エコシステム」を創出する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>海外連携拠点の形成・活用（現地の情報収集・ビジネスマッチング）、専門人材(コーディネーター)の活用（脱炭素専門人材による市内企業の事業企画支援）、脱炭素コンベンションの開催（海外都市・企業との脱炭素ビジネス交流）を一体的に実施します。 （委託料）30,000千円</p> <p>【実施体制】 横浜市、一般社団法人YUSA（地域再生推進法人）等が連携して実施</p>		<p>The diagram illustrates the integrated implementation of three key activities: Overseas Partnership Hub Utilization (海外連携拠点の活用), Carbon Neutrality Convention (脱炭素コンベンション), and Specialized Talent Utilization (専門人材の活用). These activities are connected by a circular arrow and labeled as being implemented 'integratedly' (一体的に実施).</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①脱炭素専門人材を通じた事業化件数 (+12件) ②海外連携拠点を通じたビジネスマッチング件数 (+60件) ③脱炭素コンベンションの参加者数 (+300人) ④次世代国際人材育成に向けた市内大学学生の参加者数 (+100人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/sousei/senryaku/digiden.html</p>

事業概要【中小企業DX支援事業】

推進当初

申請者	神奈川県川崎市	初回採択回	令和5年度第1回募集						
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	169,972千円 (59,569千円)						
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野						
目的 (効果)	市内中小事業者のデジタル化を進めるとともに、デジタル人材の育成等による中長期的な事業者のデジタル化を継続させていくことで、全市的なデジタルトランスフォーメーションを創発させ、産業振興及び地方創生に繋げる。								
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○デジタル化基盤強化事業 多様な業種の市内中小企業者のデジタル化推進にあたり、デジタル技術や設備の導入、人材育成などを支援。 ・デジタル技術導入、人材育成 (補助金) 23,000千円</p> <p>○DXモデル創出事業 デジタル化の基盤が一定構築された市内中小企業をDXモデルとして引き上げることで、DXの有効な事例を創出。 ・DXモデルハンズオン支援 (委託料) 16,569千円</p> <p>○DXプラットフォーム構築・運営事業 支援機関・金融機関・業界団体等と連携し、市内中小企業者のデジタル化を推進する事業主体を構築・運営。 ・プラットフォーム構築・運営 (委託料) 20,000千円</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>企業名</th> <th>事業名・事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式会社青山 プラスチック塗装  (製造業)</td> <td>●個人的製造現場ノウハウをDXで継承するナレッジ電承システムの事業化 塗装・印刷治具の設計・製造は、経験と知見を持つベテラン職人が個々のノウハウに基づいて行っている一方で、製造現場の人材離、ベテラン職人の高齢化が進み、次世代への技術継承が課題となっています。そこで、工程や設計手順等の職人ノウハウを可視化し、デジタルで伝承できるシステムを開発することで課題解決を図ります。また、今回の実証で得られた知見を同様の悩みを持つ製造業への新サービスとして展開します。</td> </tr> <tr> <td>株式会社EsSEN  (情報通信業)</td> <td>●物流の2024年問題に向けたトラックの広告掲載の価値推定 リアルタイムの位置情報をクラウドに送信できるデバイスを開発して事業用トラックに搭載した上で、トラックの荷台に広告を掲載して走行させ、取得した位置情報や当社の持つ人流データなどを活用し、広告が閲覧された場所や回数を可視化することで広告の効果をAIで測定します。広告効果の測定を踏まえた費用対効果の高いトラック広告を実施することにより、物流の2024年問題に直面する運送業界の収益性改善に貢献する新たなサービスの提供に向けて実証を行います。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中小企業DXモデル事業 採択企業一覧】</p>	企業名	事業名・事業内容	株式会社青山 プラスチック塗装  (製造業)	●個人的製造現場ノウハウをDXで継承するナレッジ電承システムの事業化 塗装・印刷治具の設計・製造は、経験と知見を持つベテラン職人が個々のノウハウに基づいて行っている一方で、製造現場の人材離、ベテラン職人の高齢化が進み、次世代への技術継承が課題となっています。そこで、工程や設計手順等の職人ノウハウを可視化し、デジタルで伝承できるシステムを開発することで課題解決を図ります。また、今回の実証で得られた知見を同様の悩みを持つ製造業への新サービスとして展開します。	株式会社EsSEN  (情報通信業)	●物流の2024年問題に向けたトラックの広告掲載の価値推定 リアルタイムの位置情報をクラウドに送信できるデバイスを開発して事業用トラックに搭載した上で、トラックの荷台に広告を掲載して走行させ、取得した位置情報や当社の持つ人流データなどを活用し、広告が閲覧された場所や回数を可視化することで広告の効果をAIで測定します。広告効果の測定を踏まえた費用対効果の高いトラック広告を実施することにより、物流の2024年問題に直面する運送業界の収益性改善に貢献する新たなサービスの提供に向けて実証を行います。
企業名	事業名・事業内容								
株式会社青山 プラスチック塗装  (製造業)	●個人的製造現場ノウハウをDXで継承するナレッジ電承システムの事業化 塗装・印刷治具の設計・製造は、経験と知見を持つベテラン職人が個々のノウハウに基づいて行っている一方で、製造現場の人材離、ベテラン職人の高齢化が進み、次世代への技術継承が課題となっています。そこで、工程や設計手順等の職人ノウハウを可視化し、デジタルで伝承できるシステムを開発することで課題解決を図ります。また、今回の実証で得られた知見を同様の悩みを持つ製造業への新サービスとして展開します。								
株式会社EsSEN  (情報通信業)	●物流の2024年問題に向けたトラックの広告掲載の価値推定 リアルタイムの位置情報をクラウドに送信できるデバイスを開発して事業用トラックに搭載した上で、トラックの荷台に広告を掲載して走行させ、取得した位置情報や当社の持つ人流データなどを活用し、広告が閲覧された場所や回数を可視化することで広告の効果をAIで測定します。広告効果の測定を踏まえた費用対効果の高いトラック広告を実施することにより、物流の2024年問題に直面する運送業界の収益性改善に貢献する新たなサービスの提供に向けて実証を行います。								
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①デジタル化に取り組んでいる市内事業者の割合 (+15.51%)</p> <p>②デジタル基盤強化支援数 (+113社)</p> <p>③DXモデルの創出数 (+6社)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000164754.html</p> <p>https://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000164756.html</p> <p>※DXモデル創出事業は、令和6年5月中旬に公表予定。効果検証については調整中。20</p>						

事業概要【さがみはら子育て応援プロジェクト事業】

推進当初

申請者	神奈川県相模原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カック内はR6年度事業費)	35,200千円 (10,546千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動式の遊び場事業や公共施設の子どもの使用料等無料化により親子が気軽に集える場の確保を図る ・父子を対象としたイベント等の開催により父親の育児力の向上を図ることで、母親の育児負担を軽減し、仕事と子育ての両立を図る ・本市への来街者に対して、本市の子育て支援環境をPRし、移住・定住の促進を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○移動式の子どもの遊び場事業 遊びを通じて、子どもたちが本来持っている「生きる力」を引き出し、子どもたちが健やかに成長できる場を提供するため、大型遊具等を使用した移動式の子どもの遊び場を市内各所で展開する事業 ・事業費 3,838千円 ○男性の育児力向上に向けた講座・イベント等の実施 父子参加型のイベントや講座を公民館等や本市のSDGsパートナー制度のプラットフォームを利用したパートナー事業者等により実施する事業 ・事業費 1,708千円 ○子育て施策プロモーション事業 本市の子育て環境のよさを市内外にプロモーションし、結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちとしての認知度や魅力の向上を図る事業 ・事業費 5,000千円 	 <p>移動式の子どもの遊び場事業</p>  <p>公共施設の子どもの使用料等無料化</p>	
KPI <small>※カック内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①子育て世代 (20~39歳) における転入超過数 (+2,442人) ②移動式の子どもの遊び場事業利用組数 (+102組) ③施設利用料無料化に伴う子どもの施設利用者数 (+42,903人) ④男性の育児力向上に係る講座、イベント等の参加者数 (+350人) 	関連URL	https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026766/seisaku/1015646/1030337.html

事業概要【市内就業者人口の増加に向けた雇用環境の好循環の創出プロジェクト事業】

推進当初

申請者	神奈川県相模原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	265,862千円 (89,302千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>就業者増加に向けた人の流れを生み出すために、【中長期的な企業立地基盤の形成】【起業家など個人と企業のビジネス交流の促進】【多様な働き方の促進】【市内企業の成長発展・環境変化への対応支援】【若者と企業の交流機会の促進】の多角的なアプローチにより、取組間の相乗効果を図りながら雇用環境の好循環の創出につなげていく。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○イノベーション創出拠点における交流イベントの開催、実証事業、マッチング支援、企業誘致活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料25,900千円 <p>○共創事業の参加企業を募集し、マッチング支援、プロジェクトの採択、成果報告を行い、採択された共創プログラムに対する経費を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料21,000千円、業者選定委員謝礼76千円、補助金4,500千円 <p>○クラウドソーシングの普及啓発・導入促進と労働者協同組合法の普及啓発セミナー等開催を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料8,594千円、業者選定委員謝礼40千円、講師謝金・印刷製本等210千円 <p>○DX化の啓発を図るためのフォーラムの開催や、市内大学と連携したDXに取り組む市内企業の勉強会とフォローアップ等の伴走支援を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料7,000千円 <p>○事業承継に関する相談業務や課題整理に関するセミナー等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料4,076千円 <p>○大学生と企業のインターンシップ促進、採用コンサルティングの派遣、中高生向け体験型交流イベントの開催を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託料17,786千円、業者選定委員謝礼120千円 		
KPI	<p>①ベンチャー・スタートアップ企業の立地件数 (+9件)</p> <p>②事業共創プログラムによる共創事業の採択件数 (+11件)</p> <p>③本事業を通じて、採用応募者数が増加した企業数 (+30社)</p> <p>④新規クラウドワーカー養成人数 (+55人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026766/seisaku/1015646/1030337.html</p>

【共創プログラムの運営・補助事業】



【中高生向け体験型交流イベント】



事業概要【若者が創る、集う、にぎわいまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県小田原市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	271,500千円 (92,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<p>・若者をターゲットにしたシティプロモーションに取り組むことで、本市市民にとっては地域資源の再発見に繋がり、市外の人にとっては憧れるまちとなることをめざす。その結果、若者世代の流入増加と流出抑制を実現する。</p> <p>・インフルエンサーマーケティングの手法を用いて、動画やデジタルマップの制作や賑わいイベント等を実施する。</p> <p>・ローカル起業家や市内外事業者、若者が“つながる”機会を創出することで、働く場としての認識を高める。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>○若者が“誇れる”地域資源再発見事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマップ制作事業 (委託料) 10,000千円 ・動画制作事業 (委託料) 15,000千円 ・若者活躍応援事業 (委託料) 500千円 ・にぎわいまちづくりイベント事業 (委託料) 8,600千円 <p>○若者が“惹かれる”訪れたいまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食体験・商品紹介を通じた魅力発信事業 (委託料) 3,000千円 ・体験型コンテンツ強化事業 (委託料) 1,500千円 ・小田原コレクション (仮) を通じた魅力発信事業 (委託料) 50,000千円 <p>○若者が“つながる”環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「若者」と「新しい働き方の実践の場」がつながる事業 (委託料) 500千円 ・副業制度を活用した「市内企業」と「都心の若者」がつながる事業 (補助金) 2,400千円 ・「市外若手事業者」と「市内事業者」、「市内の若者」がつながる事業 (委託料) 1,000千円 		
KPI	<p>①本事業における経済効果 (+29,469千円)</p> <p>②本事業に関して情報発信するSNSの発信数 (+30,000件)</p> <p>③副業人材のマッチング面談実施回数 (+90回)</p> <p>④10代～30代のコワーキング施設利用者数(延べ) (+160人)</p>	<p>関連URL</p>	<p>(交付金の具体的用途・実施体制・効果検証)</p> <p>https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/municipality/tihouseusei/kouka/p37099.html</p>



若者が“つながる”場「Work Place Market ARUYO ODAWARA」

申請者	神奈川県秦野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	367,054千円 (140,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野

目的 (効果)

- ・持続可能な地域経済構造の構築と地域経済の活性化を目指す。
- ・市民生活の利便性向上及び地域コミュニティ活性化等の様々な地域課題の解決を図る。

事業概要・主な経費

※経費内訳はR6年度事業費

○地域経済の活性化のための取組

- ・電子地域通貨システムの導入
 - 電子地域通貨導入等業務委託 (委託料) 67,775千円
 - 本格実施及び事業運営に伴う広告宣伝 (委託料) 8,800千円
 - デバッド対策 (委託料) 1,760千円
 - システム利用料 (委託料) 3,850千円
 - 決済手数料 (委託料) 13,022千円
 - 振込手数料 (委託料) 1,452千円
- ・電子地域通貨事業検討懇話会の運営
 - 電子地域通貨事業検討懇話会 (報償費) 402千円
 - 電子地域通貨事業検討懇話会 (消耗品費) 120千円
- ・電子地域通貨事業推進本部の運営

○地域活動の担い手確保と地域コミュニティ活性化のための取組

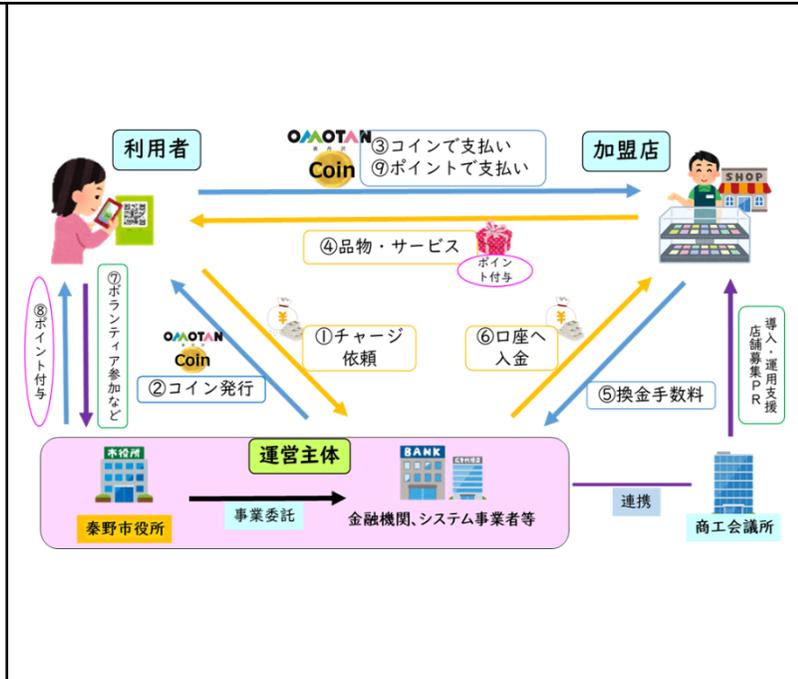
- ・健康ポイント制度の実施
 - 制度実施に伴うシステム改修費 (委託料) 2,500千円
- ・環境保全と市内の経済循環及びにぎわい創出を両立するポイント制度の実施
 - 制度実施に伴うシステム改修費 (委託料) 10,000千円
- ・行政ポイントの普及促進
 - 広告宣伝 (委託料) 7,000千円

○デジタル技術の活用による市民生活の利便性向上に向けた取組

- ・デジタルデバッド対策としてのスマートフォン教室の実施
 - スマートフォン教室企画運営委託 (委託料) 819千円
- ・商業デジタル化推進セミナーの開催
 - 講師への謝礼 (報償費) 500千円

○電子地域通貨導入環境整備

- 各店舗 (大型店等を除く) にチャージ及び支払い用端末を支給 22,000千円



KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①電子地域通貨の決済額 (+1,920,000千円)
- ②電子地域通貨アプリの登録ユーザー数 (+32,000人)
- ③電子地域通貨の登録店舗数 (+800店)
- ④電子地域通貨の行政分野での利活用事業数 (+15件)

関連URL

(交付金の具体的用途・実施体制)
(効果検証)
<https://icity.elg-front.asp.lgwan.jp/hadanowwww/www/contents/1001000003657/index.html>

事業概要【まほろば里山ランド（弘法山公園）を舞台に取り組む森林観光都市の推進】

推進当初

申請者	神奈川県秦野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	39,587千円 (13,604千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・観光周遊拠点としての「弘法山公園」の魅力向上のため、戦略性のある情報発信や仕組みづくりを図る。		
事業概要・ 主な経費	<p>○弘法山公園の魅力を高める事業 市内3駅を結ぶ観光周遊拠点及び飲食需要に応える仕組みについて検討し、周辺地域の活性化を図る。</p> <p>(1) バードサンクチュアリ改修費 2,129千円 (2) SNS映え用スポット創出 770千円 (3) デッキ整備 5,000千円 (4) 看板及び道標整備費（修繕含む） 1,939千円 (5) 権現山へのWI-FI整備 2,264千円</p> <p>○弘法山公園の魅力を発信する事業 多種多様な広報媒体を活用した効果的な広報宣伝を行うことで、市内外に向け、「老若男女が気軽に楽しめる弘法山公園」の認知度向上を図る。</p> <p>(1) 庁内印刷チラシ 98千円 (2) 登山系WEBサイトを活用した広報 550千円 (3) 広報はだのへの特集号への折込 304千円 (4) インフルエンサーを活用したSNS広報 550千円</p>		 <p>デッキ整備のイメージ</p>
KPI	<p>①小田急小田原線3駅（秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅）の年間乗降客数（+9,000人） ②弘法山公園への年間観光客数（+280,000人） ③弘法山公園を活用したイベント参加者数（+3,000人）</p>	関連URL	<p>（交付金の具体的用途・実施体制） （効果検証） https://icity.elg-front.asp.lgwan.jp/hadanowww/www/contents/1001000003657/index.html</p>

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【 AIを活用したオンデマンド交通サービス推進事業】

推進当初

申請者	神奈川県松田町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	121,084千円 (39,128千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・AI技術を活用した、新たな交通サービスを導入することにより、運転免許証の返納などにより移動手段が必要な高齢者をはじめ、子育て世帯などすべての世帯が、より便利で快適な移動環境を構築する。 ・このことにより、外出の機会が創出され、地域コミュニティが活性化することや、地域の活力の向上を図る。 ・更には、マイカー依存からの転換を促進することにより、交通渋滞の緩和やゼロカーボンシティの取組を推進する。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○新モビリティサービス推進事業費 地域の住民・企業等を主体とした組織に対し、AIオンデマンド交通の実証実験の実施に係る総合的な管理・運営を委託するもの。なお、対象経費については、運行エリア拡大分とする。 ・AIオンデマンド交通の実証実験環境構築及び運行に係る費用 26,000千円 ○協議体運営費 運行内容等の精査・意思決定を行うための協議体運営費。 ・委員報償、費用弁償、消耗品費、通信運搬費 など 128千円 ○車両購入費 13,000千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①AIオンデマンド交通の会員数 (+3,800世帯) ②AIオンデマンド交通の利用者数 (+140,000人) ③乗降ポイントの設置数 (+330箇所) 	関連URL	https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/chihouseusei/

事業概要【シビックプライド醸成による地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	神奈川県湯河原町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	80,700千円 (38,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季期間の集客を図るためコキアの郷を整備し、観光消費の拡大を図る。 ・育成や管理を担うコキアサポーターを町民などから集うことで、町の魅力を発信する人材の発掘・育成に加え、シビックプライドの醸成を図る。 ・湯河原梅林「梅の宴」の会場のデジタル化に対応する整備の検討・実施。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○耕作放棄された茶園にコキアの郷を整備するとともに、伐根したお茶の木を活用した商品の検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備等 (委託料) 22,000千円 <p>○コキアサポーターの育成・活動及びイベント・ワークショップ等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コキアサポーターの育成・活動等 (委託料) 4,000千円 ・イベント・ワークショップ等開催 (委託料) 4,000千円 <p>○湯河原梅林「梅の宴」の会場のデジタル化に対応する整備の検討・実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス化検討及びフォトコンテスト実施等 (委託料) 1,000千円 <p>○町内の観光資源などを町外に発信する、シティプロモーション人材を育成及び情報発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーション人材育成セミナー実施 (委託料) 3,200千円 ・首都圏をターゲットにしたプロモーション活動 (委託料) 3,800千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+1,350百万円) ②コキアサポーター登録人数 (+80人) ③湯河原梅林「梅の宴」来場者数 (+4,500人) 	関連URL	https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/soshiki/17/1914.html

申請者	神奈川県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	81,890千円 (40,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者を中心として、地域の水産物や海、漁村の魅力を発掘して新たな経済的資源として活用するサービス産業「海業」に地域内・外の関係者や企業を巻き込んで取り組み、地域の新たな産業と雇用を創出する ・「海業」を地域の基幹産業として定着させ、天然の水産資源のみに頼らない継続的な地域活性化による定着人口の増加を図る ・成功事例を横展開し、地域の特徴を活かした海業を県下全体への拡大を実現する 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域特性を活かした海業のモデル事業の実施によるビジネスモデルの創出【かながわ海業モデル創出事業】 ・ 外部委員によるモデル地域選定費 55千円 ・ 委託費 19,500千円 (漁業者、企業、市町で構成するグループに委託：3地域) ・ 外部委員によるモデル事業評価経費 445千円 ○海業に活用可能な地域資源 (漁村・海の魅力) の抽出と海業参入促進のための本県に適した海業の企画・提案【海の魅力の掘り起こし事業】 ・ 委託費 20,000千円 		 <p style="text-align: center;"> 漁船クルージング 地域水産物の活用 </p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地方へのU I Jターン数 (+1,950人) ②海業推進事業に係るマッチング件数 (+12件) ③海業人材育成プログラム参加者数 (+120人) ④海業のスタートアップセミナー及びシンポジウムの開催回数 (+6回) 		関連URL (交付金の実施状況及び効果検証) https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y2w/kofukin/chihouseisei-kofukin.html

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【世界に誇る博物館プラネタリウムを活用した地域活性化事業】

拠点当初

申請者	神奈川県相模原市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	485,600千円 (199,100千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	博物館プラネタリウムのリニューアルによって子どもたちの宇宙への憧れや関心を高めるとともに、地域の活力を活かした魅力発信事業をプラネタリウムにおいて行うことで、シビックプライドの醸成や地域活性化につなげる。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>全天周デジタル式映像投影機により、8Kの高精細映像とともに、3次元デジタルデータによる宇宙空間のシームレスな描画が可能となり、効果的な学習コンテンツや、臨場感ある感動的な映像体験を多くの方々に提供することができるようになる。また、デジタル式映像投影機は、様々な入力ソースを自在に投影することが可能であり、観光イベントやシティプロモーションなどに活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設整備等 (設備整備・用地造成) の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 【ハイブリッド・プラネタリウムシステムの整備】 32,573千円 【プラネタリウムシステム付帯設備の整備】 5,913千円 ○施設整備等 (設備整備・用地造成を除く) の内容 <ul style="list-style-type: none"> 【建築物本体工事】 5,061千円 【建築物と不可分な設備工事】 電気設備工事費 1,870千円 ○効果促進事業 (ハード事業) の内容 <ul style="list-style-type: none"> 【既存機器等の撤去】 6,373千円 ○効果促進事業 (ソフト事業) の内容 <ul style="list-style-type: none"> 【プラネタリウム装填風景画像の制作】 6,897千円 		 <p>©五藤光学研究所</p>
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①プラネタリウムの観覧者数 (1日あたり) (+87人) ②魅力度 (相模原市が魅力的と思う人の割合) (+3.5%) ③地域の活動への参加率 (+24%) ④人口増加率 (+0.36%) 		<p>関連URL</p> <p>https://sagamiharacitymuseum.jp/</p>

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【日本初！「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」整備事業】

拠点補正

申請者	神奈川県松田町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	84,304千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	平成30年度末をもって閉校となった、旧寄中学校の校舎を改修し、山間部である松田町寄地区の基幹産業である農林業（一次産業）を核とした地域の活性化を図るため、持続可能な一次産業アカデミーとして、「農林水産業×ネイチャーポジティブ」を学ぶことができる日本初となる「やどりきネイチャーポジティブアカデミー」を整備するもの。		
整備内容・利活用方策	<p>持続可能性をテーマに、農林業の担い手を確保していくための各種プログラムを実施するほか、地域の農産物を活用した6次化商品の製造、販売戦略など、生産から加工、販売までを一気通貫で学ぶことができるアカデミーとすることにより、持続可能な経営力を持つ農林水産就労者を育成し、地域全体の稼ぐ力を創出する。</p> <p>特に養鶏業の分野においては、鶏にセンサーをつけて動きを管理したり、水やりの装置を遠隔で操作するなど、AI技術を活用したスマート養鶏事業の現場をモニタリングできる環境を本施設に整備し、学習プログラムの提供を行うことで、デジタル技術を活用した効率的な農林水産業の経営を実践していくことができる人材の育成を図る。</p> <p>【整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築改修工事 62,017千円 【建築物と不可分な設備工事】 機械設備改修工事 2,520千円、電気設備改修工事 1,890千円 【設計業務及び工事監理業務】 設計業務及び工事監理業務委託料 5,280千円 ○効果促進事業の内容 ・ハード事業 フェンス設置工事 12,597千円 		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産就労者数（+50人） ②本事業で新たに開発する商品数（+50種） ③本施設で実施する受講者数（+3,700人） 	関連URL	https://town.matsuda.kanagawa.jp/site/chihouseisei/

※カッコ内の数値は供用開始5年後の「KPI増加分」の目標値